

かさおか

発行所

天理教笠岡大教会

かさおか編集掛
笠岡市用之江377
郵便番号714-0066
(0865)
電話 66-1311
FAX 66-1314



芦品分教会

大正14年1月25日 設立
昭和28年10月12日 鎮座祭
昭和28年10月13日 奉告祭

陽気ぐらしを目指して、たすけの輪を広げよう

今一手一つに、一步一步！

- *一教会、初席者一名以上
- *おさづけを身近に
- *百万件のにをいかけ

一人ひとりの信仰生活の充実 ～プラスαを目指して～

- *教会に参拝し、おちぼの理を戴こう
- *心を込めておつとめをしよう

創立百三十周年記念祭並六代会長就任奉告祭

立教184年(2021年)10月24日 執行

立教184年
7月号

明勇様愛美様に

第二子の男児ご誕生

上原明勇様、愛美様ご夫妻には、7月3日の午後0時6分、第一子となる長男がご誕生。体重は3018グラム。母子ともに産後の経過は順調で、大教会長様より「初志」と命名された。

同月、大教会長任命のお運びという目出度い月柄に、長男誕生という慶事が重なり、明るい兆しとなった。



十三峠越え 実施

6月22日

青年会

6月22日、青年会(上原明勇委員長)で十三峠越えを実施しました。青年会員6人、OB2人(車両係)で朝5時に笠岡大教会を出発、スタートの高安大教会近くから約25kmの道のりを、8時間30分(約4万歩)歩いておちばへ帰参しました。

私は15年程前の大学生の時に一度経験していましたが、今回初めての青年会員さんもあり、また、まだまだ若いとはいえ肉体的体力的にも多少の不安がある中、皆大きなトラブルもなく(若干名、靴底剥がれ、股ずれ、ひざの痛



峠越えにトラブルはつきもの



遥か彼方に望む大和の街並



何度も気を取り直して



気がつけばおちばへ

み、股関節の痛み等有り)無事に帰参することができました。峠越えの序盤は意気揚々と賑やかに青年会らしく歩みを進めていきましたが、だんだん疲労もたまり口数も減ってきて無心で歩くようになってくると自分自身の心の中で色々な思いが廻ってきました。良いことも悪いことも勇んだり案じたり…。そんな時に、ふと今自分たちが歩いているこの道は、こかん様の浪速布教だけでなく、道の先人達も色々な思いを背負って通った道であるということ、この人にもあの人にもたすかってもらいたい、いろんな人の顔が浮かんできました。普段のおちばがえりではあまり感じることもできない、苦勞して歩いて帰るから

こそ、「おちばで教祖がずっとお待ち下さっている」という思いが込み上げ、ありがたく、足の痛みも忘れ、勇気づけられ、気がつけばおちばへ到着していました。歩いたからこそ味わえた先人達の足跡に思いを馳せ、大教会の記念祭奉告祭を目前に今自分達にできることを考え「一人ひとりの信仰生活の充実プラスα」に繋がった十三峠越えでした。昨今いろいろな行事開催が難しい中、送り出して頂いた大教会長様、また大教会出発到着時、やさしい笑顔で見送り出迎え頂いた愛美奥様、サポート頂いた皆様、本当にありがとうございます。

(笠岡分会委員 三代 幸徳)



本部秋季大祭・月次祭の昇殿参拝について

立教184年12月までの本部秋季大祭・月次祭に昇殿参拝を希望の方は、**留意事項**を参照のうえ、次の通りお申し込みください。(担当：大教会・岡崎真一、詰所・上原 浩)

記

1) 申し込みについて

- ・秋季大祭・各月次祭に割り当てられた笠岡大教会からの昇殿参拝者数は17名までです。
- ・昇殿参拝希望者は、当月13日～19日に、下記段取りでお申し込みください。
 - ⑦岡崎携帯(090-7508-8135)へのショートメール等で、次の項目を文字でお送りください(電話・伝言は受け付けません)。24時間以内に「受付完了の返信」が届かない場合はお電話ください。
 - ⑧教会名および昇殿参拝希望者名
 - ⑨車イス使用の場合は、付き添い者の教会名・氏名。
- ・定員を過ぎた場合、また、昇殿参拝が中止になった場合は、追って連絡いたします。

2) 昇殿参拝者の留意事項

コロナ禍の増加傾向等に配慮し、次の各点に留意願います。

- ①当月19日から当日まで、各自、検温。
 - ②体調不良・不安がある等、状況によっては、昇殿参拝を辞退・帰参を見合わせるなど、無理のないように対応。
 - ③前日からの詰所泊・詰所食については、3日前までに、詰所へ連絡。
 - ④昇殿参拝者は、詰所発のマイクロバスに乗車し、15分後に神殿南正面東手水舎に集合。詰所出発時刻は、当日の午前8時(秋季大祭は7時)。直接、集合場所に行かれる方は詰所(上原浩)に一報。
- ※不慮の事態により、集合時刻に間に合わない場合は、欠席扱いとなり昇殿できない。
- ⑤昇殿参拝の際には、必ずマスク・ハッピーネクタイ(女性は準ずる服装)を着用し、近距離での会話を避ける。Tシャツ、短パン類は不可。
 - ⑥神殿到着後は、東礼拝場階下の受付に代表者が名簿を提出し、全員まとまって昇殿。係員の指示に従って着座。
 - ⑦車イスを利用する場合は、付き添い者(同日の昇殿参拝者)といっしょに、西礼拝場外のスロープ昇降口から入場、西礼拝場内車イススペースで参拝(受付不要)。
 - ⑧脚付きの座椅子を使用する場合は、西礼拝場車イススペースで参拝(殿内の畳の上・廻廊では使用不可)。
 - ⑨祭典後、アナウンスの指示に従って退場。
 - ⑩欠席の場合は、25日までに、岡崎へ連絡。

以上

修養科終了生の声



修養科三ヶ月を終えて

福南分教会 掛谷善成

今回修養科に来るキツカケが2年前の前会長の出直しで、自分が会長になる為でした。

会長になると決めた時は何度も「なんで俺がやらなきゃいけないのか」と思いましたが、修養科に来て色んな事を学んでいく中で、「なるほど」と思う事や「すごいなあ」と思う話を聞く事で、目指して良かったなと思えました。

自分の信仰心はまだ浅く、人に教理を説くなども難しいですが、今回修養科に来て学んだ事や、一緒に学んだ人達と過ごした日々を心に、この先も学び成人して行きます。

今回、天理にこれが一番学んだ事は、おちばという場所がいかによばらしい所かということです。人が人を助けるという事がたやすく行われており、あたたかさ溢れていました。

自分の教会も来たら人にやさしく出

来る心になってもらえる場所にして行きます。

修養科を終えて

高屋分教会 武内さつき

修養科での三か月、色んなことを学ばせていただきました。

コロナで大変な時期でしたが、毎日、神殿・教祖殿に行きおつとめができること、外に出て普通に生活できることが、ありがたいことなのだと思えて感ずることができ、毎日元気に過ごせているのは親神様の御守護のおかげなのだと思ひました。

また、クラスのみんなで身上の方のたすかりを願って、お願いごとやおさづけの取り次ぎをさせていただき、人のたすかりを願うことがこんなに素晴らしいことなのだと感じる事ができ、おつとめやおさづけへの意識が変わりました。

練り合いの授業では、クラスの人のお道の通り方や考え方など色んな話を聞かせていただき、とても勉強になり、自分の通り方を振り返るいい機会となりました。

最初は不安だった修養科ですが、詰

所の先生方をはじめ、たくさんの方々のおかげで無事に終えることができました。感謝の気持ちを忘れず、修養科で学んだことを活かし、人のためにできることをしていこうと思います。

3ヶ月の修養科を通して

高屋分教会 武内文香

私はこの修養科での3ヶ月、たくさんすることを学び、知ることができました。

私が修養科で特にすごいなと思ったのが誰かのたすかりを願って何かをさせて頂くということです。修養科で周りの人に身上や事情をみせて頂き、その度にお願いつとめやおさづけの取り次ぎをし、たすかりをみんなで願いました。今までの私はここまでしてこなかったなと気づかせてもらい反省しました。修養科に来させて頂いて考えがよい方向に変わったように思います。

また修養科・詰所でおさづけの取り次ぎをさせて頂く機会もあり本当にありがたいなと思いました。

また私達はコロナの影響で修養科に行けず2週間詰所待機になったことにより、普通に生活していた日々がどれ

ほどありがたく、あたり前ではないんだということに改めて気づかせて頂きました。

修養科の先生や教養掛の先生、詰所の先生方など本当にたくさんの方々に支えて頂き、毎日感謝の気持ちでいっぱいでした。

これから教会へ帰っても自分のできることを精一杯させて頂き、また感謝の気持ちを忘れず人のたすかりを願ひ、日々通らせて頂きたいと思ひます。

修養科を終えて

島根分教会 門脇はづき

この修養科三ヶ月間で、本当に様々な経験をさせていただきました。

三ヶ月のはじめから終わりまで、詰所だけではなくクラスでも、次から次へと小さな事から大きな事まで、たくさんの上や事情を見せていただきました。起こってくる事は全て親神様からのメッセージであると教えたいだいています。

組係というお役をいただいたこともあり、人一倍考える機会を頂戴しました。こうして周りにたくさん見せていただく事から、まだまだ足りない、ク

ラスの皆さんに申し訳ない、と反省するとともに、では今何をするべきか、みんな揃って三ヶ月通り切らせていただくには何が必要かと考えさせられました。

そうして、クラスでは毎日のように時間を見つけてお願いごとめをしたりおさづけを取り次がせていただいたり、休み時間も授業終わりの時間も、朝も夕も変わらずずっと、とにかく人のたすかりを願う時間へと変わっていききました。その結果、何人もの身の上も事情も次々とご守護いただき、やはり修養科というところは、たすかる場所なのだ実感しました。

それと同時に、自分の無力さを痛感しました。私一人でできたことは一つもなく、先生方をはじめ、クラスの皆さん、周りの方々がいてくださったからこそ通れた三ヶ月です。そして、当たり前的事ではありますが、親神様のご守護があり、教祖の通ってくださいたひながたがあるからこそ、今の私たちがあるのだということ、改めて強く感じました。

同時にそれは、修養科だけの話ではなく、教会でも同じことで、今の私があるのは、先人の方達をはじめ、教会

の方達の支えがあつてこそです。今一度それを胸に置いて、たくさんの方々への感謝の気持ちをお忘れず、人のたすかりを願うおつとめをし、おさづけを取り次ぎ、いつでもどこでも親神様・教祖にお使いいただけるようぼくとされるよう、起こつてくること、見えてくることを喜んで、日々通らせていただきたいと思えます。

節を与えていただいて

富士分教会 藤井里奈

私は修養科で、今ある幸せを感じ楽しむ器作りを目指していた。すると、その通りの節を与えて頂いた。すぐには喜べなかつたが、今まで信仰を繋いでくれた理の親、育ての親、また修養科で出会った先生方の親心と、周りの方々のおかげで生き節にすることができた。親神様は望めば望むほど課題を与えて下さり、パワーアップさせて下さると感じた。

また、おつとめで心通りの御守護を頂けると実感した。

これからは形だけではなく、「感謝・お詫び・お願い」の順序でおつとめをし、たすけて頂いた方々への恩を忘れ

ず、返していく通り方をしたい。

ご指導下さいました教養の先生方、温かく見守って下さいました詰所の先生方、修養科同期の皆様、本当にありがとうございます。

修養科を終えて

品治分教会 渡邊 英佐子

私は自教会の方の付き添いで修養科に入らせて頂きました。

六十年前に修養科を出ていますが、その時は、ただばくぜんとしていた様に思います。教祖伝、教典、おてふり、鳴り物と学ばせて頂き、合わせる事、誠真実、陽気ぐらし、おさづけ、と今さらながら用木の御用につとめさせて頂かないと、と決意しました。

若い娘さん達と一緒にくらす事、又私達年寄りに寄り添う様にいつもだれかがそばにいて下さり、教養掛の先生方には送迎をして頂きながら、一日も休むことなく朝夕の神殿掃除、定時ひのきしんにとがんばらせて頂いたと思えます。

四月の中ごろにコロナの事情も有り精神的にも大変なときも神にもたれて、無事におつれ通り頂きました。感

謝で一ぱいです。

教会に帰らせて頂きましても、よろこび勇んだ心を忘れずに日々神様の御用をつとめさせて頂くつもりです。

三ヶ月間の修養科を終えて

品治分教会 中山 今子

長年の間思い続けていた修養科に親神様が引きよせて出させて頂き喜んでおります。家の事も忘れて三ヶ月間教祖の元へ帰らせて頂きありがたく感謝しています。

私のために教会の奥様が二回目の修養に出て下さってほんとうにもったいないと思っております。

時々朝夕のおつとめに本部神殿参拝し、生かされていると感動しました。又朝のひのきしんでの神殿そうじは修養科に出させて頂いたから出来たと、勇んでもつたいたいと思っております。足が悪く、つえが必要でしたが、御守護頂き良く歩けるようになり、喜んでおります。

親神様、教祖の道中を学ばせて頂き、地元へ帰り教会の御用、ひのきしん、おさづけのお取次、人にほこりを積まされようと思っております。

陽だまり56 (3)

ビエン・J・K

ピリカ

知床の岬に はまなすの咲くころ
「知床旅情」は、森繁久彌が作詞・作曲を手掛け、1962年の第13回NHK紅白歌合戦で森繁自身によって披露された歌である。後年、加藤登紀子がカバーし、1971年には第13回レコード大賞・歌唱賞を受賞した有名な曲でもある。

この曲の2番に「今宵こそ君を抱きしめんと 岩かげに寄ればピリカが笑う」という歌詞がある。

このピリカとは、アイヌ語で「美しい」と言う意味である。また、「北太平洋に広く分布する『エトピリカ』は、アイヌ語で「くちばし(エト)が美しい(ピリカ)」という意味の通り、オレンジ色の大きなくちばしを持つ鳥である。

しかし、「君を抱こうとして、岩陰に誘ったら鳥に笑われた」——では興ざめだ。やはり「ピリカとは、美しい女性」という説に共感する。つまり、

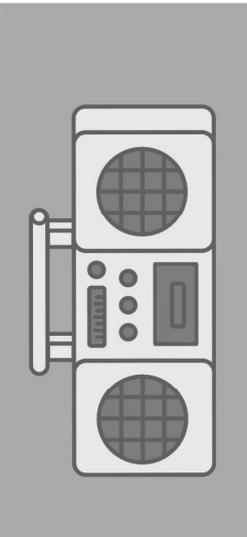
美しい娘さんが、「ウフフ」と意味深に微笑むのだと想像すれば、とても楽しい。

さて、筆者は最近「ピリカ」を始めた。

このように書くとは大変な誤解を招くかもしれない。決して「ウフフ」を始めたのではない。岡山県環境文化部が主催する「晴れの国クリーンアップおかやま」によると、「ピリカは世界100ヶ国以上で利用されているごみ拾いを楽しく広げるボランティアSNSです」と記されている。「なんじやそりや、余計分からんわ」という方は、「スマホを利用して楽しくゴミ拾いをする」と簡単に考え下さい。

コロナ禍中、三密にならず、ひのきしんができて、しかも心をつなぐ方法はないかと思案していた時にピリカを知り、若い人たちを中心に声を掛けた。すると、結構たくさんの方が、日

本国内だけでなく海外からも参加してくれた。ピリカのやり方はとても簡単で、日常のひのきしんに限らず、たとえば全教一斉ひのきしんデーなども、個人や家庭の単位でゴミ拾いに参加し、その結果を報告するだけでいい。ピリカには「キッズひのきしんクラブ」として登録してあるので、日にち、参加人数、拾ったゴミの量などを写真と

笠岡初代からの歩みを歌った『かさおかの道』を、この句に皆で歌い親しみ、心一つに記念祭・奉告祭を迎えましょう。10月24日当日、皆さんからの動画を一つに編集したものを上映する予定にしております。赤ちゃんからお年寄りまで、楽しそうに歌っていただければOK。人でも多くの方の参加、お待ちしております！

～参加方法～

- ① スマホを固定し、横長の画面で動画を撮影
- ② 各教会に配布している音源に合わせて歌を歌う
- ③ 撮影した動画を下記のライン（上原繁次）に送信～その他～

- ・参加人数は1人から何人でも可能
- ・年齢、性別問いません
- ・どのパートを歌っても構いません（混声でも可）
- ・服装は自由
- ・伴奏の最初から最後まで撮影して下さい
- ・撮影距離が離れすぎないように注意（歌声が小さくならないように）
- ・動画送信時は、教会名と名前をお願いします
- ・必ず音源のリズムに合わせて歌って下さい



動画送信先↓
(音源が欲しい方もコチラへ)



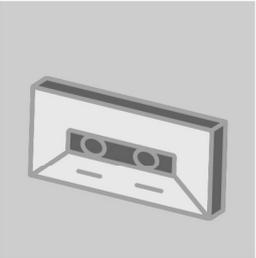
上原繁次(陶山)

動画送信締切
9月30日厳守

歌って祝おう！ 記念祭・奉告祭

『かさおかの道』
歌声動画大募集

主催：大教会記念祭・奉告祭実行委員会



共にスマホで投稿。すると、ピリカのメンバーから「ありがとう」やコメントがキッズひのきしんクラブ宛に届くのである。こうして、4月から僅か3か月間で1200を超える「ありがとう」やコメントをいただいている。ピリカは完全無料のアプリなので安心して参加でき、活動の成果をグループラインで伝えることによって喜びを共有

六月月次祭祭文

此の笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいます 親神天理王命の御前に 会長上原理一 慎んで申し上げます

親神様には一列子供の陽気ぐらしを楽しみに 十全のお働きを以てご守護下さっているばかりではなく 身上事情に苦しむ者には親心のままにおたすけをして下さっております事は誠に有難い極みでございます 加えて病の元である心のたすけをすべくこの世の表にお現れになり 陽気ぐらし建設の為のよふぼくを寄せてよろづ委細を教え 陽気ぐらしへの道をおつけ下さいました事は 感謝の念に堪えません 先人を始めこの道にお引き寄せ頂いた私共は 日々朝夕に御礼申し上げると共に陽気ぐらし実現を目指してつとめとさづけの充実を図りつつ たすけの輪を広げべくにをいがけおたすけにも励ませて頂いております

その中にも今日の吉日は 理のお許しを戴いた 月に一度の御祭り日でございますので 只今からおつとめ奉仕人一同喜び感謝とたすけ心一杯に 明るく陽気に勇んで坐りづとめてをどりを勤めて 六月の月次祭を執り行わせて頂きませ 御前には緊急事態宣言解除の安堵感を胸に 今日を待ち望んで寄り集いました道の子供達が 日頃の御高恩に改めて御礼申し上げ コロナ禍の一日も早い終息をも願う皆の真実の状態をご覧下さいまして 親神様にもお勇み下さいませ ようお願い申し上げます

さて 沖繩を除いて緊急事態宣言は解除されましたが 引き続き まん延防止等重点措置に移行するところも多くまだまだ予断が許されない状況でございますが ワクチン接種が進み 少しは明るい兆しも見え始めています その中今月から限られた人数ではありますが 再び 本部月次祭昇殿参拝が始まり 喜びも一人でございます これから徐々にではございますが 帰参者を増やしていくと共に 新しい帰参者を ご守護頂けるようにをいがけおたすけに励ませて頂く所存でございます 又「たすけの輪を広げる」為には自分自身のたすけ心を磨き鍛えて行かなければなりません 大きなお助けは出来なくても身近な出来るところからのおたすけを続けて行く所存でございます

何卒 親神様には コロナ禍により大きな変革を余儀なくされている現状にあつて 変革に惑わされる事無く 親を信じ親に凭れてたすけ一条に励む 皆の誠真実の心をお受け取り下さいまして 万たすけの上に更なる 自由のご守護を現し下さり 共に助け一条の歩みを進める人が弥増して よろづ互いが欲を忘れて助け合い喜び合う姿に 親神様も共に喜んで頂く 神人和楽の陽気ぐらしの世の状が 一日も早く実現しますようお導きの程を 一同と共に慎んでお願い申し上げます

し、心をつなぐことができるのである。梅雨の最中でも「パプリカ」のメロデーに乗せて口ずさむと、また楽しい。パプリカ 雨が降ってても 晴れた心で、ピリカしよう

◎ブログ版「陽だまり語録」をご覧になりたい場合は、スマホやパソコン等で「陽だまり語録」と検索されるか、下記アドレスを入力してください。

陽だまり語録



<https://hidamarigoroku-vjk.localinfo.jp/>

大教会だより

◎第九五八期修養科

自 立教184年4月1日
至 立教184年6月27日

* 教 養 掛 (主任、副主任)

一ヶ月目 ⑤ 吉岡誠一郎

(大教会役員・
興明分教会長)

⑥ 福島 泰道

立教百八十四年 六月月次祭 祭典役割表

胡弓	三味線	琴	小鼓	すりがね	太鼓	拍子木	ちゃんぽん	笛	おつとめ てをどり	地方	役割 区分	祭主	大教会長様					
												扨者	三島 渉					
												指図方	上原 明 勇					
講話	三島 渉	八月講話	森 本 忠 善															
今川 佐智子	佐藤 香苗	上原 順子	内海 史郎	森本 忠善	岡崎 真一	上原 志郎	田中 隆之	浅野 明教	田中 ますみ	上原 愛美	大教会 奥様	上原 繁道	上原 明勇	大教会 長様	杉原 善朗	杉原 博之	佐藤 道孝	坐り勤
内海 安子	岡崎 豊子	笹尾 一美	赤木 素志	高木 昭祥	三代 温生	今川 昌彦	山田 敏教	山野 弘実	吉岡 八恵	横山 小智榮	門脇 加津	上原 浩	三島 渉	三島 元教	門脇 誠	中島 誠治	上原 明勇	前半
田中 つかさ	岡崎 和美	三島 照美	杉原 善朗	渡邊 隆夫	森本 忠善	内海 史郎	浅野 明教	佐藤 真孝	山野 なつ	谷内 美知子	武内 正美	虫 明立生	谷内 伸自	中村 剛	上原 繁次	横山 逸郎	中村 道徳	後半

二ヶ月目 ⑤ 谷内 秀自
(瑞北分教会長)

副掛 谷 宣和
(輝美濃分教会長)

副掛 谷 宣和
(坪生分教会長)

三ヶ月目 ⑥ 武内 正美
(大教会役員)

高屋分教会長

副 下田 誠輝
(神村分教会長)

*修了者

- 福南 掛谷 善成
- 高屋 武内 さつき
- 高屋 武内 文香
- 島根 門脇 はづき
- 福富士 藤井 里奈
- 品治 渡邊 芙佐子
- 品治 中山 今子
- 稲倉 北川 孝道

◎教人資格講習会修了者(全期)

立教184年7月11日終講



テレビを見ると、朝から晩までコロナ、コロナのオンパレードだ。今はワクチン、ワクチンと言っている。私は6月9日に1回目のワクチンを打った。2回目は、6月30日だ。2回目を受ける迄は、何だか不安だった。情けないが、これが現実だ。2回目ワクチン受け済みのタスキを掛けたらどうだろう！2回目を受けてもマスクは、外せない。電車に乗っても、お店も、マスクなしに入れない。
・・・時に思うようぼくとしての自

覚はないのか？身を潜めているばかりの私では申し訳ない。6月20日発行の天理時報には、この記事が有る。「教会本部は1日、本部神殿でお願いづとめを勤めた。おつとめに先立ち宮森内統領があいさつを行った。——中略——」親神様の積り重なるもどかしさを私たちが晴らしていったならば少し心配はいらない。いま私たちのすべきことは、明かるい心でおたすけに努めることである。『むねのそうじ』は人間思案のない先案じのない心に変えていくことである」と語ったと掲載されている。
誠に届かない私ですが、がんばるしかありません。(ひ)